



横山愛彩美さん(荒砥)

中学2年のときに担任の先生から介護の仕事をお勧められ、荒砥高校に入学し、授業や研修で福祉の勉強をがんばりました。高校生活の中で苦しいこと、つらいこともたくさんありましたが、友人や家族、先生に支えられて前に進むことができました。

▶ 医療法人社団聡明会 内定



大貫ひとみさん(荒砥)

中学生のときにデイサービスで職場体験し、そこから介護の仕事を目指し始めました。仲間との絆を深めることができた荒高祭では、様々なことに対応できる力も身に付けられました。これからは、仕事を通して人から信頼される人間に成長したいです。

▶ 医療法人社団聡明会 内定

「介護職員初任者研修を受講し、福祉の道へ進む卒業生の声」

荒砥高校の行事は自分たちで考えて実行する機会が多く、仲間との絆や交友関係が広がりました。これから進む介護の仕事は、人を思いやる気持ちが大切になってくるので、仕事を通して相手の立場を考えられるような人間に成長していきたいです。

▶ 社会福祉法人白鷹福祉会 内定



大木千秋さん(荒砥)

母が足を悪くしたときに、介護の手伝いをしたのがきっかけでこの道を選びました。研修は、130時間という長い期間で大変でしたが、周りの支えがあつてがんばれました。今後は仕事を通して、周りの人を笑顔にできるような人間になりたいです。

▶ 株式会社テイクオフ 内定



鈴木真子さん(萩野)

就職への道を広げる「介護職員初任者研修」って？

初任者研修は介護職の入門資格であり、旧ホームヘルパー2級にあたります。介護の知識・技術だけでなく高齢の方との接し方や介護・福祉の考え方などを習得し、就職に有利なだけでなく、高齢の利用者に対してよりサービス(支援)を提供することができるようになります。

町では、荒砥高校生が在学中に資格取得が可能となるよう130時間に及ぶカリキュラムや施設実習を5月から10月までの放課後や夏休みに開講し、卒業後に介護人材としての即戦力となるよう支援しています。受講費用はテキスト代のみで、講座開設に要する費用は町が負担しています。

荒砥高校の過去4年間の修了生人数

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
人数	1	5	3	4